

自立

1年主任 岡原秀和

トマトとメロン

火曜日、相田みつをさんの詩「トマトとメロン」を題材として、副担任が道徳をしました。トマトとメロンという比喻(ひゆ)を使いながら、人間はそれぞれに素晴らしい個性をもっており、それを伸ばしていくことが大切だと訴える内容の詩でした。

私も4組を担当し、かなり張り切っていました。10分後、「この詩を通して、相田さんは私たちにどうしたらよいと言っていますか?」と問い、全員に発表してもらいました。すると、

- トマトもメロンも精一杯生きているから比べても意味がない。(13)
- 自分のいのちを百点満点に生きればよい・自分の生き方をすればいい。(7)
- みんな同じではないけれど、それぞれよいところがある。(3)
- みんなそれぞれの生き方がある。(2)
- 自分にはいいところがないと思っても他人から見るといいところがある。(1)
- トマト、メロンの生き方がそれぞれあるように、人は自分以外の何者にもなれない。(1)
- 今の時間、命を大切に生きている。(1)

全員が正解でした。この授業を通して、教えたかったことを4組のみんなはすでにわかっていたのです。

しかし、現実は何世の中、比較されることだらけ。入試、部活動、…。社会人になると、さらにひどい。(家族に聞いてみてください。)ライバルと競いながら自分を成長させていくこともある。そういう思いから、「世の中は、比較されることばかりですが?」と問うと、…。よく考えていました。意見も割れました。正直、楽しかったです。

授業後、私の授業を見ていた他の先生方からお叱りを受けました。「教科書からズレとる!」と。反省しました。

自分自身のよさは自分ではわかりにくいものです。ワークシートにも短所はぎっしり書いているが長所は一つだけの人が多かったです。授業の終末に、自分のよさを友人から指摘してもらう時間を計画していたのに、時間が足りずに、できなかったことが心残りです。

自分との対話を繰り返しながら、自分のよさを伸ばしていくように、また、多くの人と関わりながら自分らしさを発揮して、自分自身が納得できるように、人生を生きてほしいと思います。

授業後の感想では、「今日の授業で自分の考えを深めることができましたか?」に対して、4(よく考えた)が22人、3(どちらかといえばよく考えた)が6人。

- 友人の意見を聞いて自分もそうしてみようかなと思うことができた。
- 自分の生き方を考えることがなかったので、この授業を通して考えられてよかった。
- 自分の意見を言うことができた。
- 友人と話せたのでよかった。
- 自分を見直すことができた。

と、全員が考えてくれる授業になった(たまたま?)ことに、自己満足しています。

中庭で育てているミニトマトがとてもおいしそうだったので、勝手にちぎって食べました。私の道徳心も育てたいです。

